

# 日本における 高等教育研究の現状と センターの役割

名古屋大学高等教育研究センターは1998年4月の創設以後、国内外の高等教育の状況や課題をふまえ、研究と実践を展開してきた。今春には、教職員の組織的な能力開発を担う拠点としての活動2期目の中で創設20周年を迎えている。

近年、大学をめぐる状況が大きく変化するとともに、全国の高等教育に関わるセンター群は財政難、経営難を深めている。センターの組織再編や資金調達の結果として、業務多重となることも珍しくない。本センターと同様である。この流動する状況下で、組織として果たすべき役割や追求すべき研究は何か、また、拠点活動も含めて各種実践の性格と内容はいかにあるべきか、それらをどのように経営していくのか、各々のセンターは自問しながら試行錯誤を続けている。

本シンポジウムでは、各大学のセンターが担うべき役割や具体的な活動方策について検討する。すでに独自の地位を築いている各センターの教員からの報告をふまえつつ、参加者とともに活発な議論を行い、今後の展望を描きだしたい。

2018 9月27日 木  
13:30-17:00 参加費無料

会場 名古屋大学東山キャンパス  
文系総合館7階カンファレンスホール

## プログラム(敬称略)

- 13:00 - 受付  
13:30 - 13:40 主催者挨拶 齋藤 文俊(センター長)  
13:40 - 13:55 趣旨説明 夏目 達也(センター教授)  
13:55 - 15:10 シンポジスト講演 深堀 聡子  
沖 裕貴  
近田 政博  
15:10 - 15:30 休憩  
15:30 - 16:50 討論 指定討論: 両角 亜希子  
司会: 夏目 達也  
16:50 - 17:00 閉会挨拶 齋藤 文俊

## シンポジスト(敬称略)

- ・深堀 聡子 九州大学教育改革推進本部 教授  
日本の高等教育研究の現状からみたセンターの役割
- ・沖 裕貴 立命館大学教育開発推進機構 教授  
私立大学で教育改革・学生支援に取り組むセンターの立場から
- ・近田 政博 神戸大学大学教育推進機構 教授  
機構化されたセンターの教員の立場から

## 指定討論(敬称略)

- ・両角 亜希子 センター客員准教授/東京大学大学院  
教育学研究科 准教授

## 会場MAP

名古屋大学東山キャンパス  
文系総合館7階カンファレンスホール



■主催/名古屋大学高等教育研究センター(質保証を担う中核教職員能力開発拠点)

■お問合せ先/ TEL:052-789-5696

E-mail: info@cshe.nagoya-u.ac.jp

■申し込み方法/

ご参加を希望される方は下記サイト、または右記QRコードから必要事項をご入力の上送信してください。ご入力頂いたメールアドレスへの返信をもちまして申込完了となります。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/20an/>



※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。※ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。